

# 加東市の現状と課題について

# 基本目標1 元気な高齢者を増やすために

＜介護予防と高齢者の生きがいづくりの推進＞

- ①地域の通いの場を増やし、そこへ参加する高齢者の増加を図る。
- ②地域で活動できる人の増加を図る。
- ③まちかど体操教室に参加の難しい高齢者が集いやすい場を新たに創設。
- ④会員数が減少しているシニア（老人）クラブへの支援。

# ①地域での通いの場を増やす取組

## かとうまちかど 体操教室



誰でも簡単！  
イスに座ってできる  
体操

階段が  
楽になった



杖がいらなく  
なった



## 物忘れ予防カフェ



市内11か所

〈物忘れ予防カフェ〉  
地域の誰でも参加できて、認  
知症について悩みを相談し  
たい交流できます。

# まちかど体操教室 認知症予防カフェ

高齢者の  
集い



地域  
づくり

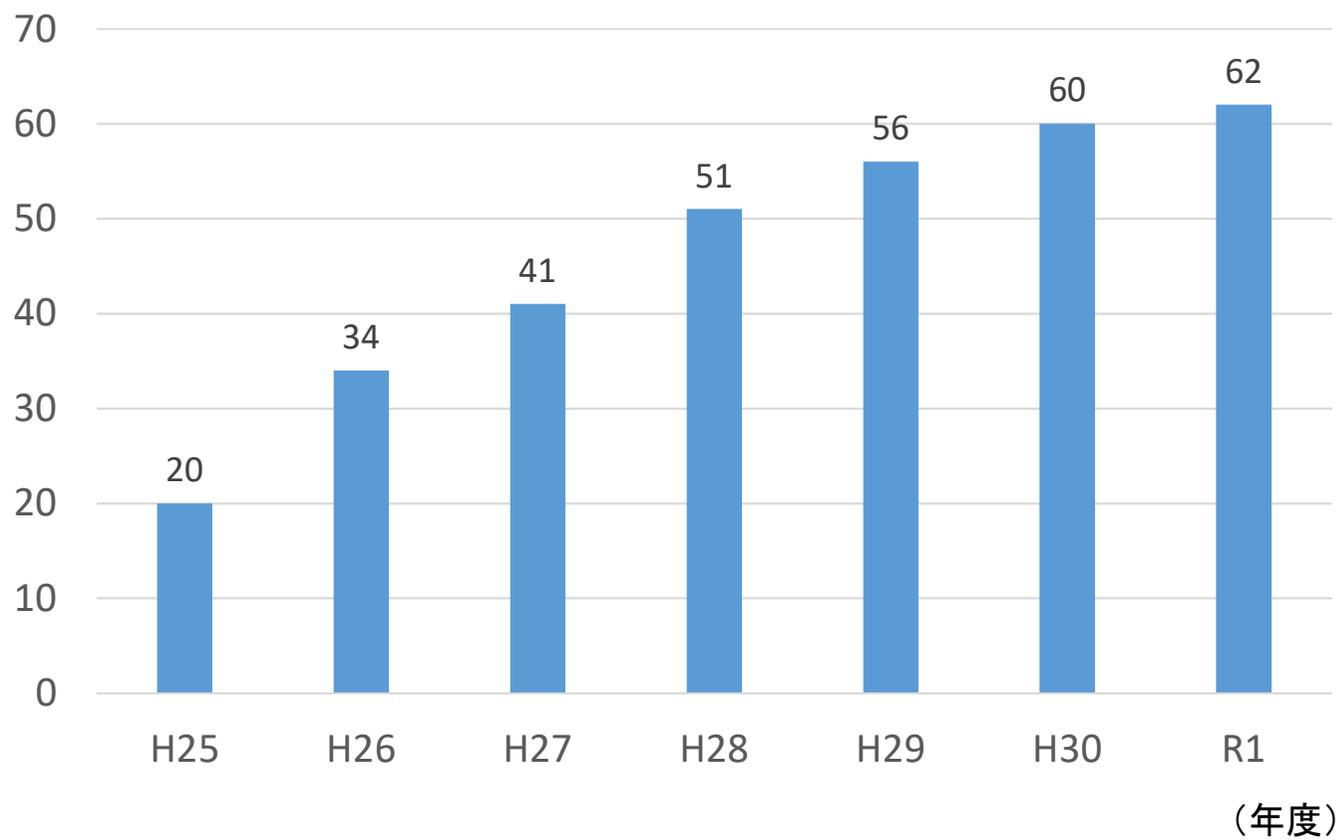
週、1回定期的に顔を合わせることで、  
自然と交流が図れ、地域の絆につながる



市内62グループ  
およそ1,300人



まちかど体操グループ数



## ②地域で活動できる人の増加を図る

かとうまちかど  
体操教室

かとう介護ファミリー  
サポートセンター

介護予防サポーター

生活支援サポーター



私たちがサポートします！



# 介護予防サポーターは 「かとうまちかど体操教室」 を手助けする活動です！



教室参加への  
声かけ



体操中に一緒に  
回数を数える

約40名が活動中  
R元年度養成講座では  
8名修了、5名活動希望



体力測定の手助け

# 生活支援サポーターは 高齢者の暮らしの手助けを する活動です！

できる人が

できることを

できるときに

ちょっとした手助けがあれば、地域で安心して暮らせる



家の中の掃除・  
ゴミ出し



買い物

話し相手



調理の  
手伝い

約40名が活動中  
R元年度養成講座では  
8名修了、3名活動希望

# 養成講座の工夫、 サポーターの活動支援強化



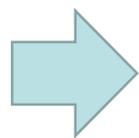
情報交換



フォロー講座や研修会

## ③集いやすい場を新たに創設

まちかど体操教室に  
参加の難しい方、  
事業対象者  
要支援1、2の方



## かとうふまねっと教室 H29.10月～開始

場所：やしろショッピングパークBio  
南山活性化施設(ミナクル)H30.11～

内容：ふまねっと運動(10回コース)

自由時間は昼食や買い物を楽しむ  
送迎あり(移動支援)

H30年度 Bio49回 実25人  
ミナクル14回 実7人



# 「ふまねっと」とは？



ゆっくりと  
ネットをふまないように  
集中して歩く！

複数の課題を  
同時に試みる！

認知機能改善  
歩行機能アップ  
& 仲間づくり



元気になって地域での活動や  
まちかど体操教室への参加へ

# 「ふまねっと運動」の広がり



※ふまねっとカフェ  
（ハートフルプラン小島）  
※地域ふまねっと教室（上滝野）



※ふまねっとサポーター養成講座  
約20名が地域やサービス事業所  
で活動中

## ④ 会員数の少ないシニアクラブへの支援

<活動のメリット>

交流の輪が広がる

生きがいつくり、健康づくり

新たな仲間づくり



<課題等>

会員数の減少

- ・ 仕事をしている人がある
- ・ 役員の負担

活動の内容等

- ・ 魅力ある講座の工夫
- ・ 老人クラブというネーミングに抵抗

平成29年度 クラブ数 91 (年度末で2クラブ解散)

平成30年度～ 新たに小規模老人クラブの支援

クラブ数 86 小規模 4クラブ (新規1)

令和元年度 クラブ数 85 小規模 3クラブ

加東市老人クラブ連合会を加東シニアクラブ連合会に名称変更

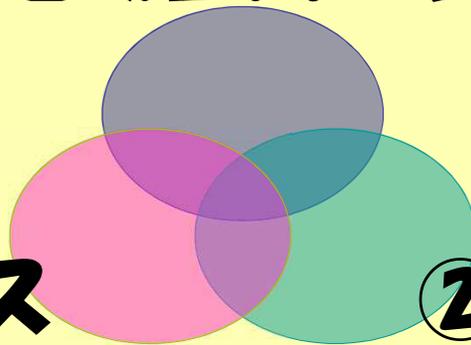
# 今後の取組

## 高齢者を地域で支え合う体制づくり

### ①地域住民の参加

### ③介護予防・ 生活支援サービス

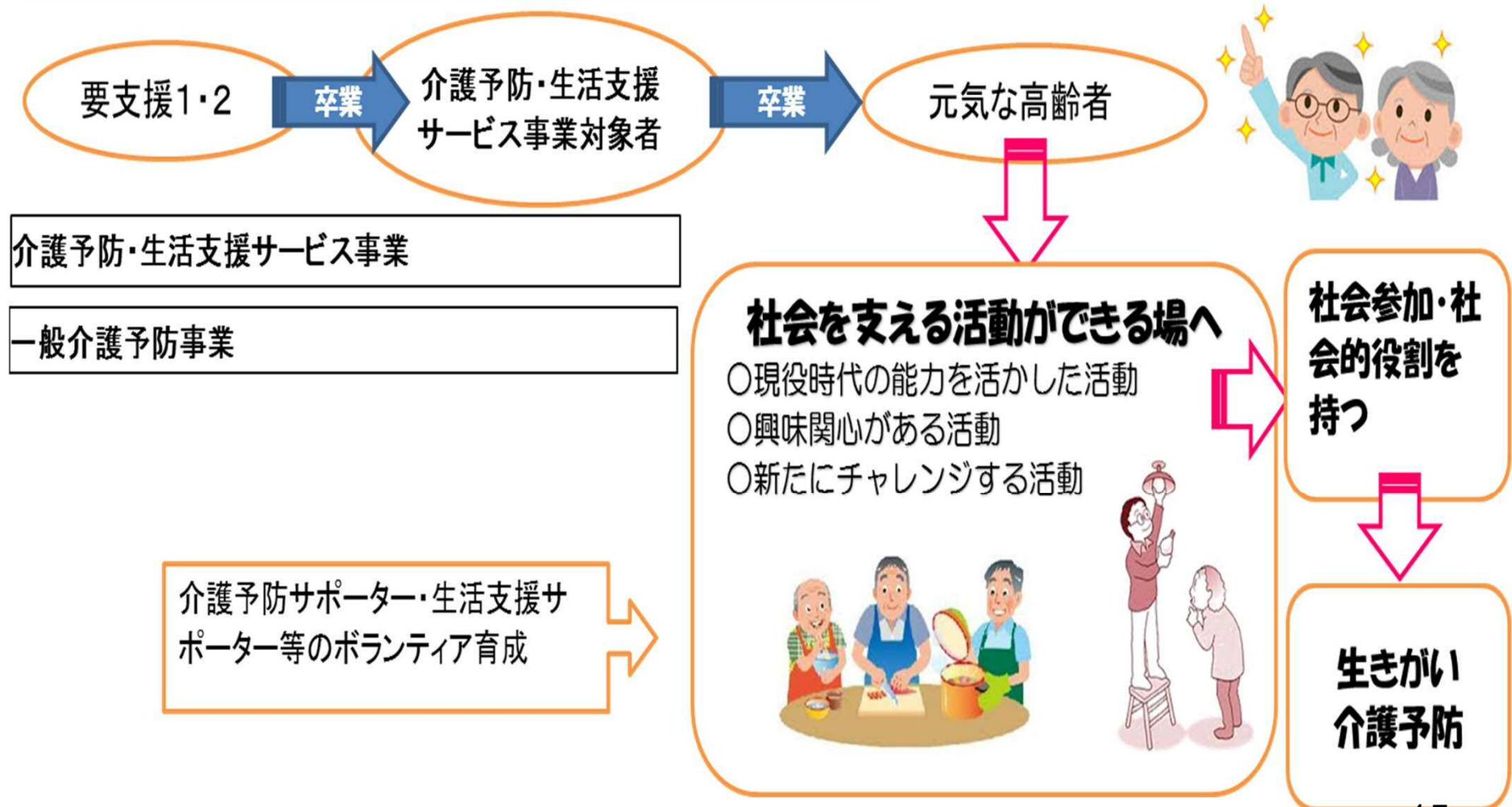
### ②高齢者の社会参加



ボランティア・民間・社会福祉  
法人・NPO等、多様な事業主体

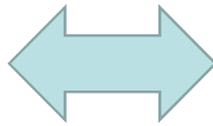
**介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で  
暮らし続けることができるようにするために**

# 介護予防・日常生活支援総合事業の 推進イメージ



# 介護予防・日常生活支援総合事業の 今後の課題と方向性

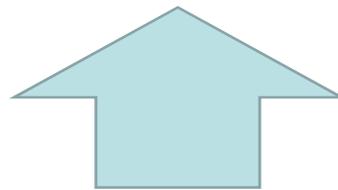
地域づくり



介護予防

生活支援

生きがいのある生活・自己実現が図れる生活



行政、住民、NPO等の協働により地域づくりを進める

1. フレイル対策への関心を高める
2. 移動支援サービスを調整する
3. 通いの場の維持・増加へのサポート
4. 人材育成と受講者へのアプローチ
5. 住民の活動組織等の既にある資源の活用
6. 集うことの大切さを啓発

## 基本目標2 高齢者を地域で支える仕組みづくり

### ＜地域包括ケアシステムの構築＞

- 包括的な地域ケア体制の充実
- 認知症高齢者への支援の充実
- 在宅医療・介護連携の推進

# 住み慣れた地域で暮らせる

自助

お互いさま

互助

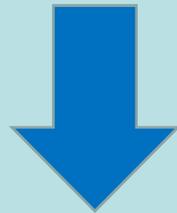
共助



公助

# これからの地域包括ケアシステム

高齢者だけでなく  
障害者も子育て世代も  
あらゆる年代

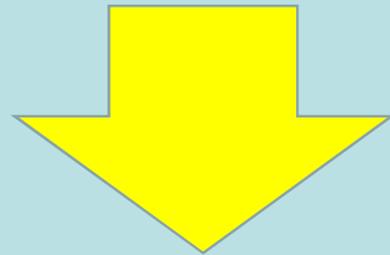


**共生社会**の実現  
地域づくり  
ネットワークの強化



# 加東市のこれから

目標：生きがいを持って、  
安心して住み続けられる



住民・民間団体等・社協・行政が協働  
しながら、地域づくり(課題解決)

# 福祉の力を まちづくりに役立てましょう！

ボラン  
ティア  
団体

高齢者の見  
守り、声かけ

介護予防

ケア  
マネジャー

ネット  
ワーク

行政

施設や  
事業所等

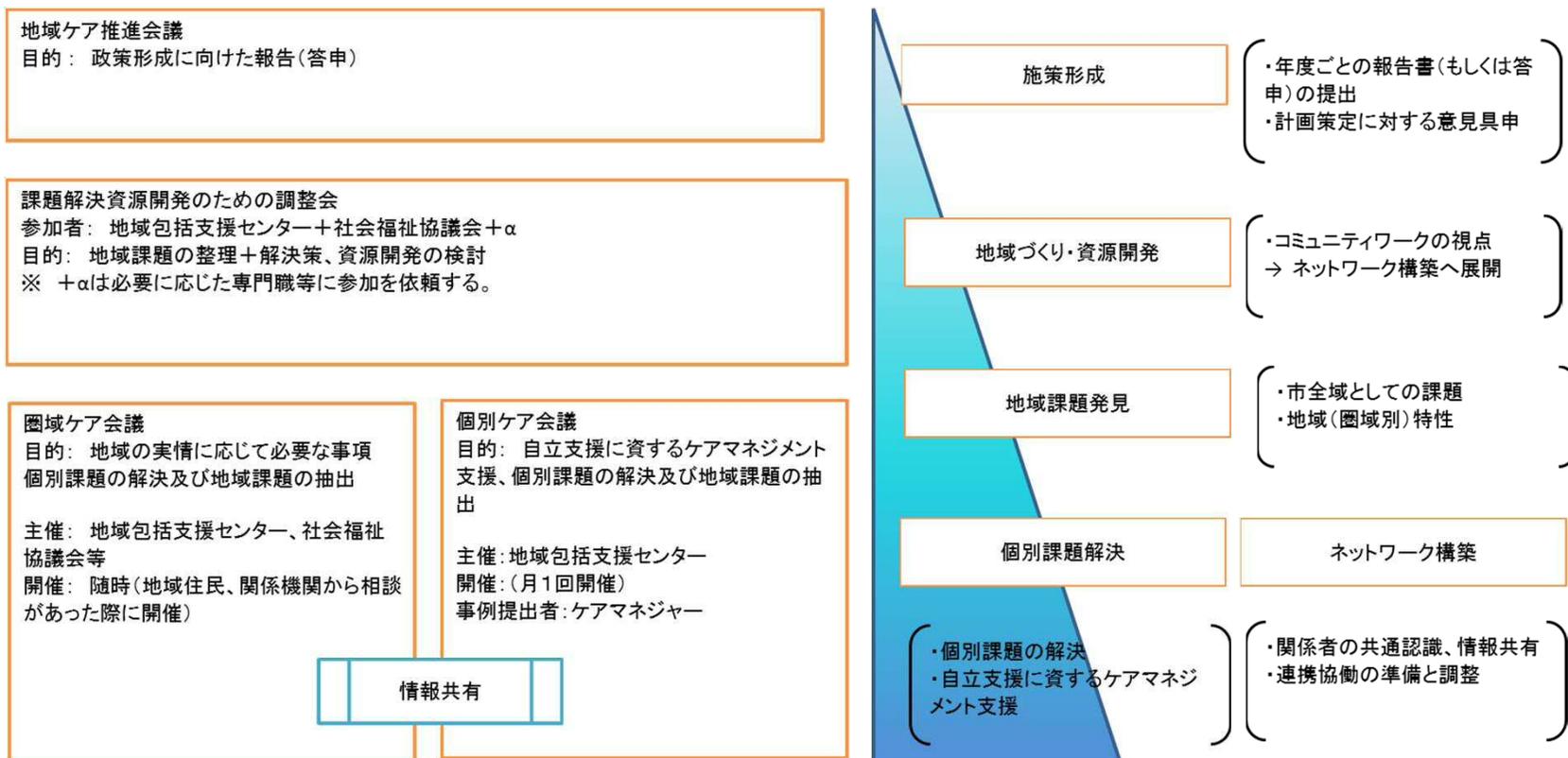
災害時の体制



気にかけて  
くれる人が  
いますか？

**近くにどんな人が住んでいますか？  
関心はありますか？**

# 加東市地域ケア推進会議【概略図】

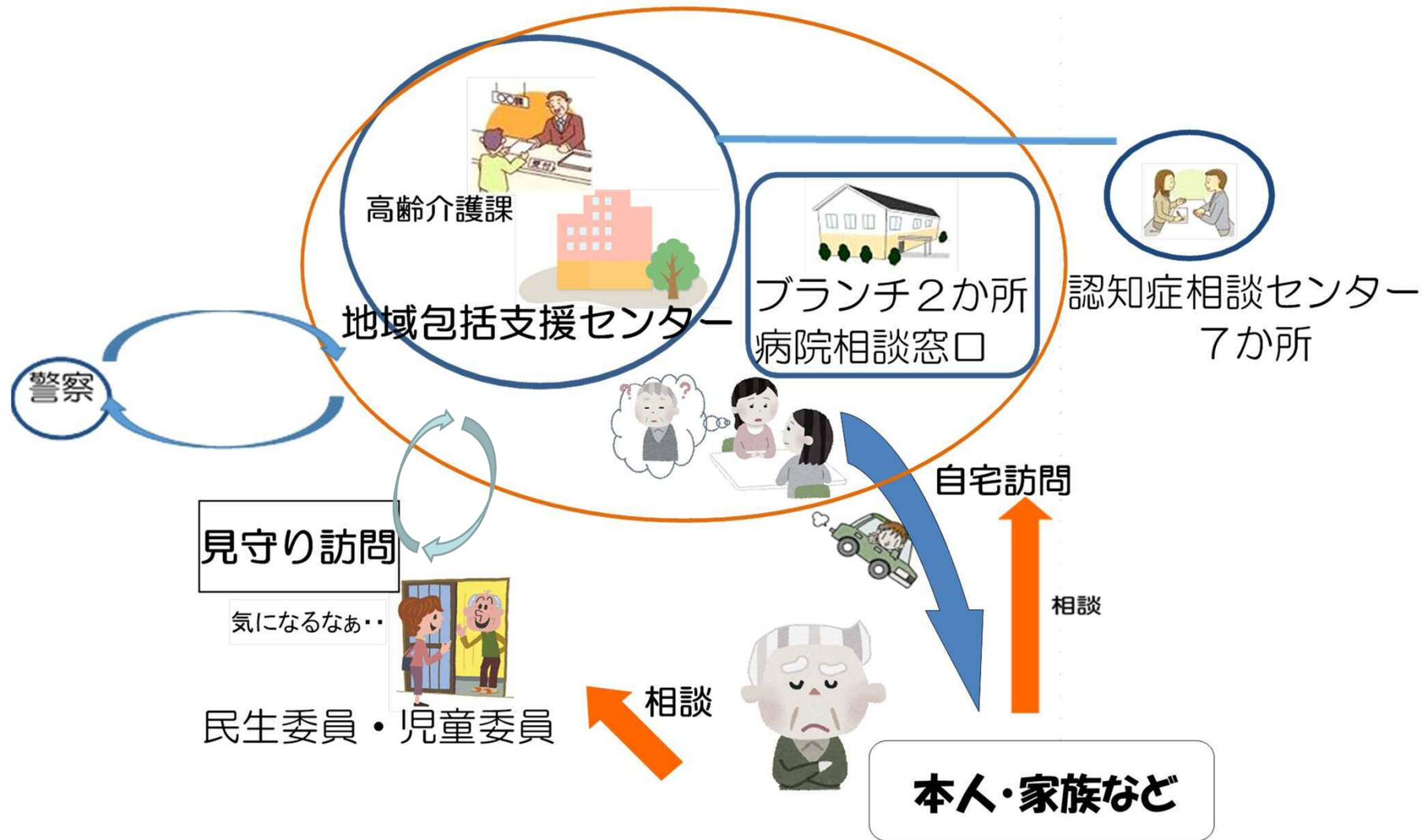


# 地域ケア会議開催状況

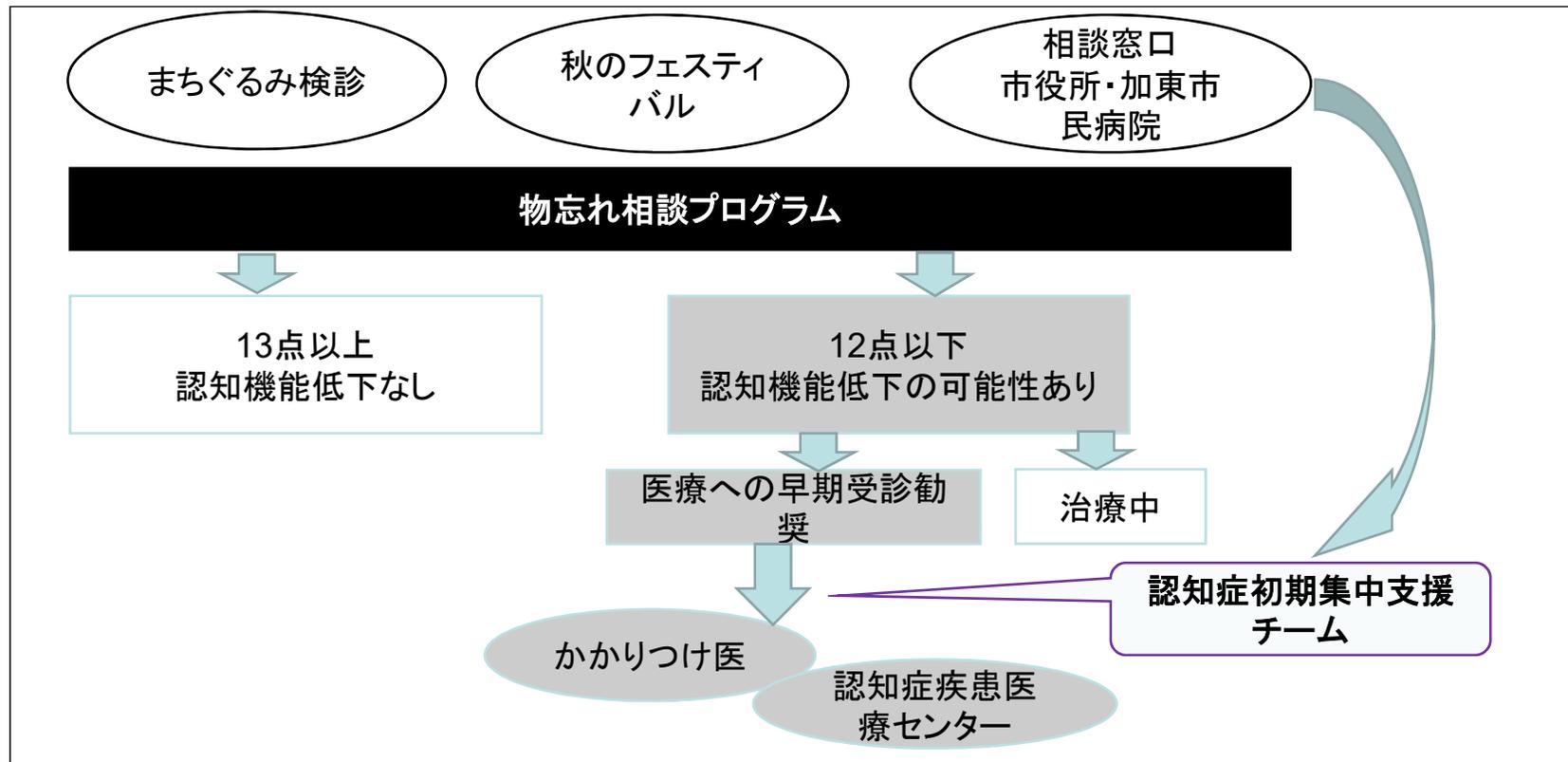
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
開催回数 (回)	個別ケア 会議	6	7	7	8	※4
	圏域ケア 会議	2	7	7	7	※7
検討件数 (件)	個別ケア 会議	6	7	7	11	※4
	圏域ケア 会議	2	7	7	7	※7

\* R元年度は9月末時点の数値

# 認知症相談支援体制



## 認知症の早期発見・早期支援の取組概念図【加東市】

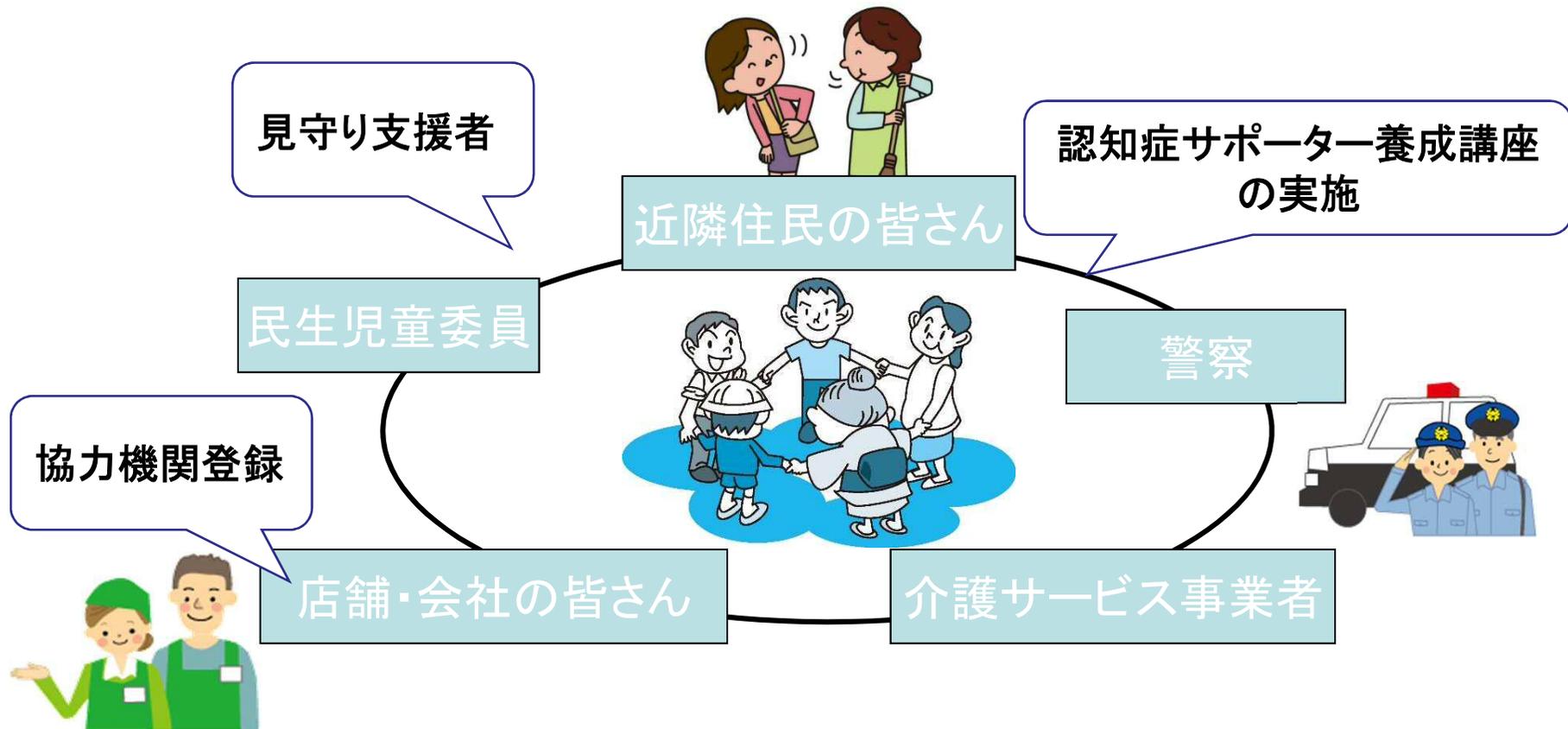


# 実績

	2015年	2016年	2017年	2018年
認知症の疑いがある高齢者の訪問件数(件)	16	13	6	16
認知症初期集中支援チームが介入した件数(件)	0	0	12	17

	2015年	2016年	2017年	2018年
物忘れ相談プログラムの活用(回)	782	819	719	819

# 地域における認知症支援体制



つくる！できる！認知症になっても笑顔で暮らせるま  
ちPRイベント

# ひとり外出見守り 声かけ体験ウォーキング



どこかに  
おでかけですか？

は(はっきいと)

や(やさしく)

ゆ(ゆっくり)

み(みじかく)

これがポイントです！

みんなで、声かけ体験  
を試してみませんか？



# 在宅医療・介護連携の推進

